

# CVGコンバム取扱説明書

この度は、CVGコンバムをお買い上げいただき有難うございました。  
今後とも何卒よろしくご愛顧の程お願い申し上げます。

ご使用前に説明書を必ずご一読下さい。  
又、本書は大切に保管して下さい。

## 警告

- ①吸着されたワーク(吸着対象物)が落下することにより危険と考えられる場合には、安全の為に必ず機械的な落下防止を設けて下さい。
- ②腐食性ガス・可燃性ガスのある場所での使用は避けてください。又、絶対に吸い込ませないで下さい。

## 注意

### ■配管注意事項

- ①コンバム1個に、バキュームパッド2個以上を接続する場合
  - バキュームパッド1個に空気漏れがあれば、真空度が低下し、吸着ミスの原因となります。
  - 真空配管において、コンバムと分歧箇所間の配管は、分歧箇所とバキュームパッド間の配管よりも太くして下さい。
- ②真空配管が細すぎるとコンバム内の真空度が高くなり、真空センサがONしたままになりますので、配管内径は指定以上にして下さい。

### ■設備注意事項

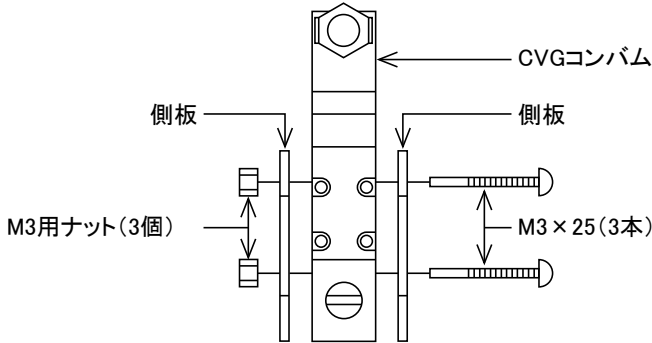
- ①コンバムの使用温度範囲は0℃～60℃ですので、これ以外の温度条件では使用しないで下さい。(凍結している場合は作動不良となることがあります)
- ②圧縮空気中には多量のドレン(水・酸化オイル・タール・異物)が含まれています。これらはコンバムの性能を著しく低下させる要因となります。アフタークーラ・ドライヤによる除湿、タール除去フィルタによるタール除去等により、エア質の向上を行って下さい。又、ルブリケータ(給油器)は使用しないで下さい。
- ③配管内のサビ等は作動不良の原因となります。コンバムのエア供給側の直前には5μm以下の空気圧フィルタを入れて下さい。
- ④電磁弁には定格電圧±10%以内の電圧を供給して下さい。
- ⑤振動49m/s<sup>2</sup>以上、衝撃294m/s<sup>2</sup>以上の使用は避けて下さい。
- ⑥ノイズが多く出るような高圧機器・高圧線・動力線からは、できるだけ離して設置して下さい。
- ⑦水滴等が直接電磁弁にかかると漏電・コイル焼けの原因となります。カバーやパネル内に設置するなどで保護して下さい。
- ⑧水分及び油分・塩分・金属片等は性能低下の原因となりますので吸い込ませないで下さい。

### ■保守注意事項

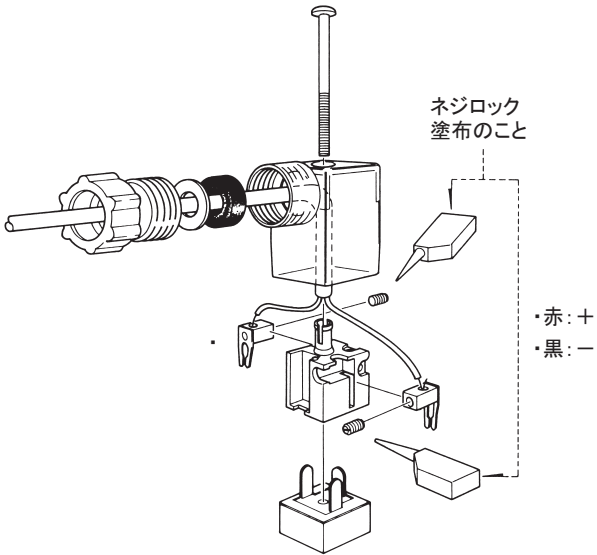
- ①分解や部品の交換を行う場合は、必ず電源やエアを切ってから行って下さい。
- ②分解や組立は、専門の知識を有する人が行って下さい。
- ③分解・組立時部品を紛失しない様にして下さい。性能が保証されません。
- ④分解作業等を行う際には、バネ部品が飛び出す場合が考えられますので、保護メガネ等を使用して作業を行って下さい。
- ⑤真空側配管が1.5m以上ある場合は、真空発生時間及び真空破壊時間を多めにとって下さい。
- ⑥真空発生させている時は、真空破壊制御用電磁弁の作動は行わないで下さい。
- ⑦マニホールド時の供給空気圧力は、Sタイプで0.53～0.55MPa、Rタイプでは0.38～0.4MPaで使用して下さい。
- ⑧各ねじを取付ける際の標準締付けトルクは、M2.5…0.32N・m／M3…0.59N・mで行って下さい。
- ⑨マニホールドには、排気エア回り込み防止ブロックゴムが入っており、真空破壊制御用電磁弁ブロックなしの場合はワークの離脱に時間がかかりますのでご注意下さい。

## ■排気音低下用側板

- 排気音を下げたい場合、側板の使用をお勧めします。
- 片側が壁のところにコンバムを取付ける場合、壁側の側板は不要です。
- 側板を使用する場合は、設定圧を0.02MPa上げて下さい。



## ■DIN端子の組付け方法と配線



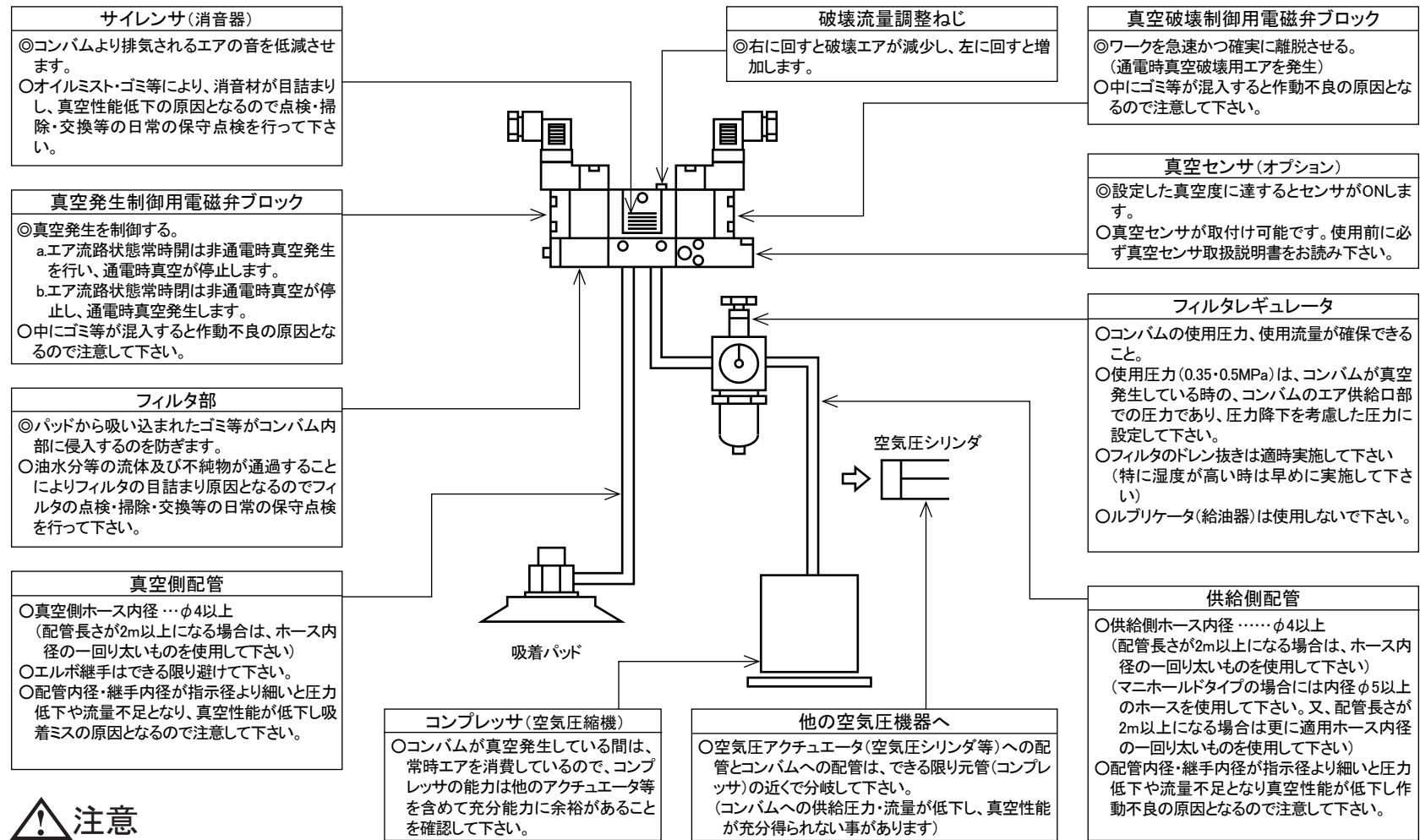
■真空センサについては別紙の取扱説明書をご覧ください。

■マニホールドについては別紙の取扱説明書をご覧ください。

## ■付属部品

型式	付属部品名	素材寸法	数 量
CVG本体単体タイプ	十字穴付なべ小ねじ	M3×20ばね座金付	3
	側板		2
	ナット	M3用	3
CVG本体マニホールドタイプ	十字穴付なべ小ねじ	M3×50 ばね座金付	2
	ベースガスケット		1

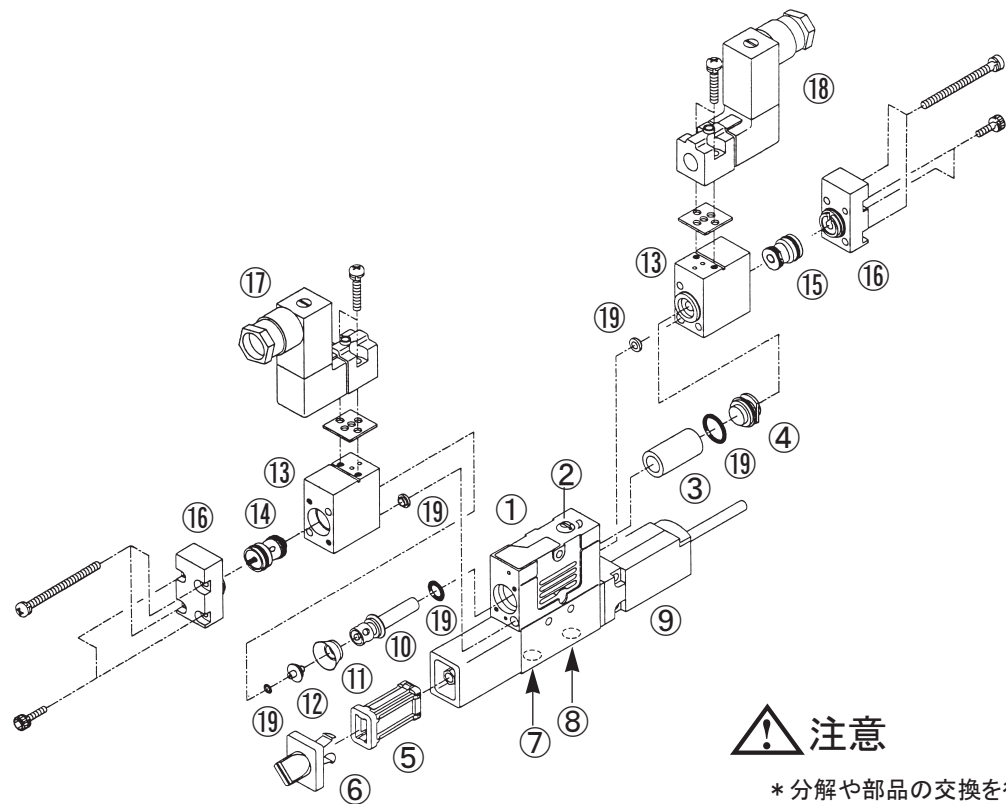
■使用説明(◎機能、○注意事項)



⚠ 注意

- \* 供給側及び真空側の配管は、エア漏れ等のないように確実にすること。
- \* 電磁弁は仕様にあった配線をする。
- \* 仕様、外形についてはカタログを参照のこと。

■分解図



●各部名称	
①	CVGコンバム本体
②	真空破壊調整ツマミ
③	サイレンサ
④	カラー
⑤	フィルタエレメント
⑥	フィルタキャップ
⑦	真空口
⑧	供給口
⑨	真空センサ(MVSシリーズ)
⑩	ディフューザ
⑪	逆止弁
⑫	ノズル
⑬	バルブブロック
⑭	ピストンAssy
⑮	DカラーAssy
⑯	トメイタAssy
⑰	真空発生制御用電磁弁
⑱	真空破壊制御用電磁弁
⑲	Oリングおよびパッキン

⚠ 注意

- \* 分解や部品の交換を行う場合は、必ず電源やエアを切ってから行って下さい。
- \* 分解や組立は、専門の知識を有する人が行って下さい。
- \* 分解・組立時部品を紛失しない様にして下さい。性能が保証されません。
- \* 分解作業等を行う際には、バネ部品が飛び出す場合が考えられますので、保護メガネ等を使用して作業を行って下さい。

株式会社 妙 徳

ホームページ <http://www.convum.co.jp>  
E-mail [faq@convum.co.jp](mailto:faq@convum.co.jp)

カスタマーサポートセンター  
お気軽にお問い合わせください。

☎ 0120-340095 ☎ 0120-498586 ☎ 0120-415641

# CVGコンバム取扱説明書

## マニホールド組付方法

この度は、CVGコンバムをお買い上げいただき有難うございました。  
今後とも何卒よろしくご愛顧の程お願い申し上げます。

ご使用前に説明書を必ずご一読下さい。  
又、本書は大切に保管して下さい。

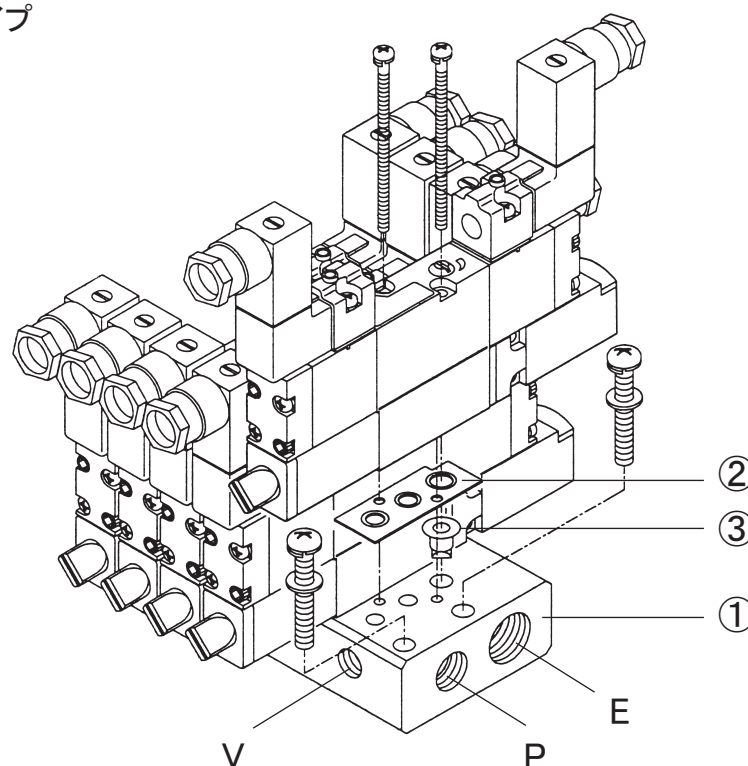
### ⚠ 注意事項

- ① マニホールド時の供給空気圧力は、Sタイプで0.53～0.55MPa、Rタイプで0.38～0.4MPaで使用して下さい。
- ② マニホールドに搭載したCVGコンバムを個々に作動させる場合、作動していないCVGコンバムの真空口より若干エアが流出します。
- ③ マニホールドベースに本体を取付ける場合、ガスケットやOリング等を正確にセットし、エア漏れのないように取付けて下さい。
- ④ マニホールドには、回り込み防止ブロックゴムが入っており、真空破壊制御用電磁弁なしの場合は、ワークの離脱に時間がかかりますのでご注意下さい。

### BMマニホールドタイプ

#### ● 適応機種：CVGコンバムマニホールドタイプ

P=供給口 E=排気口 V=真空口



#### ■ 各部名称

①	BM マニホールドベース	③	回り込み防止ブロックゴム
②	ガスケット		

#### ■ 付属部品

型式	付属部品名	素材寸法	数 量
CVG BMマニホールドベース	十字穴付なべ小ねじ	M5×35 平座金、ばね座金付	4
	GMプラグ	R1/4	1
	GMプラグ	R3/8	1

株式会社 妙 徳

ホームページ <http://www.convum.co.jp>  
E-mail [faq@convum.co.jp](mailto:faq@convum.co.jp)

カスタマーサポートセンター  
お気軽にお問い合わせください。

☎ 0120-340095 ☎ 0120-498586 ☎ 0120-415641